

## 会長就任のご挨拶

書面表決にて実施しました、第9回通常総会にて、前年度に引き続き当会の会長を仰せつかりました平尾雅生です。  
会長就任に際し、会員の皆様にご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、日本中が先の見えない“自粛”生活を余儀なくされ、社会活動全般に大きな影響を及ぼしています。  
当会におきましても、3月より再三の活動自粛要請をお願いしておりまして、会の教室等での集まりを楽しみにしてくださっている皆様には、ご迷惑をおかけしていますが、引き続きご協力をいただきますようお願い申し上げます。

今回の「新型コロナウイルス」終息後は、社会が大きく変わるといわれています。  
インターネット技術によってパソコンやスマートフォンなどのICT機器を利用した「情報型・非接触型の社会」が、大きく進むのではないかとこのものです。  
1か所に集まらなくても、また、わざわざ会場に行かなくても、遠隔地から会合に出席でき仲間と交流ができる社会が、あたりまえになってくることも考えられます。  
こうした方向は、新型コロナウイルスの災禍がなくても、早晚やってくる社会です。  
それが、一気に早まる可能性があるということです。（困ったものですね）

私たちの生活のあらゆるものが、インターネットにつながる、IoTやAIと言われる人工知能を使った機器が急速に社会に浸透していく中で、国は高齢者などが、このような技術革新に取り残されないようにするために、地域の身近な人からICT機器の使い方を学べるように「デジタル活用支援員」という仕組みの制度化を検討しているようです。

そのような中で、私たち尾北シニアネットも、市民向けの「パソコンやスマホの学びの場」を企画して、協力できればと考えています。  
多くの方が「学びの場」に集まり、そこで学んだことで楽しかったと思う人が友達を呼び、早くわかった人がわからない人をサポートする。  
尾北シニアネットも、そんな楽しい場所になればと思っています。  
また、その中で学んだ人の中から、地域の「デジタル活用支援員」などの誕生につながるのではないかと期待しています。

新しい技術に、どうしても遅れがちで、シニア世代には、何らかのサポートがないと独学では時間がかかります。  
そういう時に、組織としては小さいですが地域社会で、熱心に活動している尾北シニアネットみたいな団体が強い味方になると思います。

今後も、会の中で新しいサークルや活動グループが誕生し、活発な活動が行われることを期待しています。

また、会では運営スタッフとして、共に活動して頂ける「世話役」を随時募集していますので、よろしくご協力をお願いします。

最後に、  
今後も会員の皆様方のご希望に添うような運営を、心掛けて参りますので、引き続き皆様のお力添えのほどを、お願いしまして会長就任の挨拶とさせていただきます。

新型コロナ感染症が終息して、また皆様とお会いできることを楽しみにしています。